



あすなろ研修会を行いました

11月14日(月) サニーフレイスにて 今年1月のお話が好評だった清水幹夫法政大学教授を再度お迎えしあすなろ研修会を行いました。内容は大きく2つのテーマに分けて研修しました。



1. 利用者の確保をどうするか。

- ①小中高の校長先生と話し合い理解を深める。
- ②幼稚園の園長先生にも声を掛ける。
- ③教育委員会との関わりを深める。

会合も何度か持ち、営利目的のないボランティアである点を理解してもらう。

- ④あすなろ通信をまめに配布する。各校に足を運び、校長はもとより、教頭、教務主任そして養護の先生と接点をもち親しくなるとよい。うるさがられるくらいでも構わない。春先にPTA総会でニュースを流すのもよい。

2. 現在の利用者との関わり

今のところ、常時利用している児童生徒は、3人だが、彼らが同時に同じ場所にいることに大きな意味があり、続けることが大事で「3人しかいないではなく3人もいると受けとめよう」という言葉に目からウロコの思いでした。私たちは利用者の様子を見てその言動をフィードバックしながら「あなたはそのままでもいいんだよ」と伝え続ける存在でよいとのこと。また、「あすなろ」は困難を抱えた子どもたちにとって最後の「といで」であるべきだと言われ一同、本当に意を強くしました。

ことしはさつまいもをたくさん収穫しました

あすなろ農園のサツマ芋掘りを11月15日と24日の2回に分けてやりました。小麦の後作や農家の残り苗をいただいたりで苗植えが遅れたので、育ちを心配していましたが、「サツマイモはえらい」想定外(?)大きく育ちました。篤農家のサツマ畑の提供もあってたくさん収穫でき、何度もみんなで食べました。ふれあい祭・アカペバザー・北文文化祭などバザーで売りました。あすなろ農園のさつまいもは甘くておいしいと好評で自慢のおいもです。

